

2024年度地域医療セミナー 開催要項

テーマ「成長し続ける地域医療をめざして

～人員の確保と労働環境の改善にむけて～

<趣旨>

新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5月8日から5類に見直されて以降、コロナ前の生活が徐々に戻りつつある一方で、新興感染症へ備え、安定した地域医療を提供していくためには、医療従事者の処遇改善・労働環境の改善を求めているといかなければなりません。

総務省は2022年3月に「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」を策定し、すべての公立病院に対して2024年3月末までに「公立病院経営強化プラン」の策定を求めています。医療機関で働く職員にとっても、国が求める公立・公的医療機関のあり方と病院経営について把握した上で、現場で働く労働者の視点から課題解決に向けた取り組みを進めていく必要があります。

労働環境の改善には、人員の確保はもちろん、賃金の改善、労働時間の適正化、教育・研修制度の充実、各種ハラスメント対策などが必要です。また2024年4月から医師の時間外労働時間規制が実施されます。医師の働き方は他の医療関係職種へも影響を及ぼすことから、「労働時間の適正把握」と「自己研鑽と労働時間の明確化」においても明確にしなくてはなりません。

地域医療の担い手である私たち職員が働き続けられなければ、地域医療は成り立ちません。本セミナーを通じて、公共サービスとしての医療の役割や最新の医療政策を学び、病院経営も注視した上で、「人員確保」「労働環境の整備」等、組合員が抱える課題解決にむけ交渉力の底上げにつなげたいと考えます。

【第1日目(全体会)】 2024年2月23日(金・祝) 13:00～17:45

12:30～13:00 受付開始・接続テスト

13:00～13:15 開会・あいさつ(小森議長、山崎副委員長)

13:15～13:45 情勢報告と基調提起

衛生医療評議会事務局長 平山春樹

13:45～15:15 講演「アフターコロナの時代の自治体病院」

城西大学経営学部マネジメント総合学科 教授 伊関 友伸さん

15:15～15:30 休憩

- 15：30～16：30 「医療現場における AI・ICT 活用の展望」
NTT データ経営研究所 土屋 裕一郎さん
- 16：30～17：00 報告「広島県立病院再編統合に対する取り組み」
広島県病院局職員労働組合 栗田 博正さん
- 17：00～17：30 国会レポート「衛生医療評議会に関連する活動報告」
自治労協力国会議員 参議院議員 岸 真紀子さん
- 17：30～17：45 まとめ・休会

【第2日目(分科会)】 2024年2月24日(土) 9:30～13:00

◆ 看護師分科会「看護師の負担軽減について考える～今こそ看護師の業務を見つめなおそう～」

<趣旨>

2019年4月以降、働き方改革によって多くの業種で時間外労働時間の上限が設けられましたが、一部の業種では上限規制の適用が猶予されていました。医師に関しても勤務形態の特殊性等を考慮し猶予されていましたが、2024年4月からは医師にも時間外労働の上限規制が適用されます。

良質かつ適切な医療を、効率的に提供する体制の確保を推進するため、医師の働き方改革に伴うタスク・シフト/シェアの推進がより一層求められます。これにより医師の業務が看護師や薬剤師をはじめとする他の医療従事者に業務移管されることとなります。

タスク・シフト/シェアは、特定行為研修を修了した看護師や診療看護師等の配置により医師の業務負担が軽減されるだけでなく、業務の効率化や医療従事者が専門性をより発揮できるというメリットがあります。一方で、シフトされる側の業務負担増が懸念されます。特に看護師においては人員不足や長時間労働、サービス残業が大きな課題となっていることから、タスク・シフト/シェアを進めるためには看護師の業務を見直し、業務の精選と他職種への看護師業務の移管を検討することで看護師の負担軽減を図っていく必要があります。

上記の課題に対して、日本看護協会の講演と看護問題対策委員会からの提起を基に、グループワークを行い、現場の情報交換・意見交換を行いながらタスク・シフト/シェアにどう取り組むかをディスカッションすることで労働環境改善に向けた運動につなげていきます。

<スケジュール>

- 9：00～9：30 会場受付
- 9：30～9：35 開会・あいさつ

- 9：35～10：25 講演「看護師の働き方を考える」
日本看護協会 労働政策部看護労働課 奥村元子さん
- 10：25～10：40 看護問題対策委員会提起
(休憩)
- 10：50～12：30 グループワーク
- 12：30～12：45 グループワーク報告
- 12：45～13：00 まとめ・閉会

◆ 医療政策分科会「地域に必要とされる医療提供体制を考える

～再編統合の現状と課題～

<趣旨>

地域医療体制の再編統合においては、地域のニーズに焦点を当て、どのような医療を行っているのかを知る必要があります。現状の課題としては医療のリソースの不均衡や高齢化による需要の増加があげられます。適切な医療提供を確保するために、効果的な連携や情報共有や仕組みの整備が必要です。

そのため、私たち労働組合の視点は重要です。今起きている、今後起きるであろう再編統合や経営形態変更が起きても、地域医療を守るために、私たちは今の職場で働き続ける必要があります。そのためには、まずは働いている私たちの声を反映させ、労働条件や働きやすさの向上が必要です。

この分科会では今の地域医療とはどのようなものかを知り、パネルディスカッションを通し「再編統合」「地域医療提供体制」等の理解を深める機会にしたいと考えております。

<スケジュール>

- 9：00～9：30 会場受付
- 9：30～9：35 開会・あいさつ
- 9：35～10：45 講演「公立病院の機能分化・連携強化と経営形態について」
総務省準公営企業室 齋藤 聡さん
- (休憩)
- 11：00～11：45 公立病院の再編統合に関する現場報告（各15分）
新潟県 県立病院
滋賀県 市立長浜病院
宮城県 4病院再編統合
- 11：45～12：50 パネルディスカッション
- 12：50～13：00 まとめ・閉会

◆ コメディカル分科会「労働基準法守れていますか？職場の適正な運用をめざして」

<趣旨>

私たち労働者の適切な雇用を守る法律である労働基準法。皆さんの職場では守られていますか？休憩時間、前残業、不払い残業、宿日直、緊急呼び出し、労働時間の管理、自己研鑽、職場の独自ルール等、疑問に思ったことはありませんか？

新型コロナウイルスの位置付けが 5 類へ見直された後も、医療現場では身体的・精神的な負担が変わらず大きいままでの勤務が続いています。日々の業務を法律の下で適正に運用していくためには、労働基準法の内容を知っている必要があります。

本分科会では労働基準法の内容を理解し、現場でみられる課題を改善するきっかけにしたいと思います。

<スケジュール>

9：00～9：30	会場受付
9：30～9：35	開会・あいさつ
9：35～10：35	コメディカル委員会提起
10：35～11：35	パネルディスカッション (休憩)
11：45～12：45	グループワーク
12：45～13：00	まとめ・閉会